

萩医療圏地域医療構想病床機能等検討部会（令和元年度第 2 回）議事概要

【日時】 令和元年 12 月 17 日（火） 19:00 ～ 20:30

【場所】 萩地域医療連携支援センター 2F 研修室

【出席者】 市医師会長、病院関係者、市担当者 等

○国が示す「具体的対応方針の検証に向けた議論の整理」への対応について説明、協議を行った。

○「山口県医師確保計画」及び「山口県外来医療計画」（素案）について情報提供を行った。

○萩保健医療圏における中核病院形成に向けて協議を行った。

【議事内容】

- 1 国が示す「具体的対応方針の検証に向けた議論の整理」への対応について
県医療政策課から、国における医療機関の具体的対応方針の再検証に係る考え方について、説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

- 2 「医師確保計画」及び「外来医療計画」（素案）について
県医療政策課から、同計画素案に関する情報提供を行った。
（主な意見・質問等）

- 外来医師偏在指標では、診療科ごとの数値は反映されていないのか。
⇒ 今回の指標には反映されていない。
- 新規開業者へ地域で不足する外来医療機能を担うよう要請するとあるが、そもそも初期救急を担わない診療科の場合もあるのではないのか。
⇒ 外来医師多数区域では、地域で不足する医療機能を求めることとしているが、診療科によっては対象とならない場合も想定されることから、今後、運用面で考慮したい。
- 医師偏在指標は、病院・診療所に勤務する医師全体の偏在状況を示すものだが、救急医療では病院の役割が重要。病院勤務医の偏在解消に取り組み、確保に努めてほしい。

3 萩保健医療圏における中核病院の形成に向けた協議について

中核病院の形成に向け、萩市民病院と都志見病院が統合の意向を示し、今後、関係機関等と協議を始めることについて、萩市から説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 萩圏域における今後の医療需要等を考えると、再編統合を進め、中核病院を形成しようとする考え方は理にかなっている。病院再編のあり方のモデルケースとなると考える。

4 医療機関2025プランの具体的対応方針の確認について

各医療機関の具体的対応方針について、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議にて協議することとされていることから、萩保健医療圏における中核病院の形成に向けた協議において、プランを見直す必要が生じた場合には、その内容を、地域医療構想調整会議に報告することを確認。